



目 標

二酸化炭素排出量

■二酸化炭素の排出量を、平成12年度以降、平成2年レベル^{*1}に抑制するよう努めます。

硫黄酸化物排出量

■硫黄酸化物の排出量を、平成6年レベル^{*2}に抑制するよう努めます。

窒素酸化物排出量

■窒素酸化物の排出量を、平成6年レベル^{*3}に抑制するよう努めます。

(※1) 平成2年レベルの二酸化炭素排出量：県内のエネルギー消費量をもとにして、二酸化炭素排出係数などを考慮して、算出した。(216万トンC/年、793万トンCO₂/年)

(※2) 平成6年レベルの硫黄酸化物排出量：大気汚染物質排出量総合調査結果および燃料販売実績などをもとに試算した。(0.9万トンSO₂/年)

(※3) 平成6年レベルの窒素酸化物排出量：固定発生源については大気汚染物質排出量総合調査結果などをもとにして、移動発生源については幹線道路の交通量などをもとにして、各々試算した数値を加算した。(1.5万トンNO_x/年)